



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <https://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・IR部長 (氏名) 森山 勇二

TEL 092-724-4925

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,603	4.9	445	25.9	437	24.8	239	45.3
2020年3月期第3四半期	7,247	2.9	353	26.6	350	27.0	164	42.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 238百万円 (51.1%) 2020年3月期第3四半期 157百万円 (45.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	39.22	
2020年3月期第3四半期	27.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	9,632	5,560	57.7	908.37
2020年3月期	8,886	5,412	60.9	887.46

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,560百万円 2020年3月期 5,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		21.00	21.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	1.6	550	13.0	538	12.7	306	38.3	50.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	6,257,230 株	2020年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	135,352 株	2020年3月期	158,691 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	6,110,209 株	2020年3月期3Q	6,086,712 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内外の経済活動が強く制限される等、非常に厳しい状況となりました。一時的に個人消費の回復の兆しもみられたものの、感染の再拡大が生じており、依然として先行き不透明な状態が続いております。

食品業界では家庭での内食需要の高まりが見込まれる一方、外食業界におきましては、外出自粛による影響が大きく、引き続き経営環境は厳しいものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは、変化する市場環境に柔軟に対応できるよう、ブランド力と商品開発力の強みを活かし、他社には真似できない商品づくりを行うことにより、さらなるブランド価値向上に努めてまいりました。

食品事業では商品価値訴求を目指す売り方改革や、パスタカテゴリー商品の更なる店頭化拡大等の取り組みを行いました。レストラン事業では感染防止対策を徹底し、各種施策に取り組んでまいりましたが、時短営業や外出自粛による来客数の減少により、厳しい結果となりました。このような状況でありましたが、食品事業が好調だったことにより、増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は76億3百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は4億45百万円(前年同期比25.9%増)、経常利益は4億37百万円(前年同期比24.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億39百万円(前年同期比45.3%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①食品事業

食品事業では、今期の経営方針である「商品価値訴求を目指す売り方改革」「第二の柱・パスタ関連カテゴリー商品のさらなる成長」「第三の柱・スープカテゴリーの育成」のもと商品価値を大切にしながら新たな販売方法の確立を行い、売上、利益拡大を図ってまいりました。

緊急事態宣言解除後におきましても内食需要は一定の高止まり状態にあり、ドレッシング及びパスタ関連カテゴリーともに好調に推移しました。特にパスタ関連カテゴリーは前期の2倍以上の売上高を確保し、大きく伸ばいたしました。おうちパスタシリーズは前年からの営業施策の効果に加え、4月上旬にテレビCMの集中放映を行い、店頭化拡大に取り組みました。さらに巣ごもり需要も追い風となり、前年実績を大きく上回りました。また、レトルトパスタソースは大好評の「絶望スパゲティ」など、好調に売上を伸ばしました。

食材にこだわった高価格帯のプレミアム冷凍パスタや、昨年より販売を開始したイタリアのプレミアムブランド「AGNESI(アネージ)」のパスタ麺も売上を伸ばしています。

ドレッシングカテゴリーでは、昨年の8月に行った価格引上げの影響で、特に前期第2四半期から第3四半期にかけて一時的に売上が落ち込みましたが、商品価値を訴求した販売施策を継続した結果、今期は定番の「和風しょうゆ」をはじめとするドレッシング全体の売上高は前年同期比105.1%となり、売上が回復するとともに商品の利益率も向上しました。

育成事業であるスープカテゴリーでは、11月に「PIETRO A DAY SOUP & CAFÉ 名古屋セントラルパーク店」を出店しました。ギフト需要やオンライン等での売上が着実に増加しており、徹底したブランディング戦略でさらなる認知度拡大を図ってまいります。

さらに通信販売では、オンライン強化や新しい施策に取り組んだことにより順調に売上を伸ばしました。

以上の結果、セグメント売上高は62億57百万円(前年同期比19.8%増)、セグメント利益は18億19百万円(前年同期比33.4%増)となりました。

②レストラン事業

レストラン事業では、新型コロナウイルスの予防を徹底し、お客様と従業員の安全を第一に考え、全従業員へのマスク着用、検温の徹底、ご来店されたお客様にもアルコール除菌のご協力を頂くとともに、テーブルやメニューの消毒等、衛生管理の強化を行ってまいりました。さらに、テーブルの間隔を広げて客数を減らす等、三密防止への取り組みを行い、感染防止策を店内外で重点的に実施し営業を行ってまいりました。またお客様の「新しい生活様式」に対応するため、テイクアウトメニューの拡充やデリバリー、店頭での物販強化も行ってまいりましたが、第1四半期連結会計期間（2020年4月から2020年6月）は新型コロナウイルス感染症拡大により来客数が大幅に減り、売上、利益ともに大きく減少しました。緊急事態宣言解除後は幾分回復傾向にあり、単月の売上では前期比80%を超える月もありましたが、感染の再拡大が生じており、予断を許さない状況です。このような状況の中ではありますが、アフターコロナを見据えた新しい業態へのチャレンジとして、5月にディナーメニューを充実させた新業態「PASTA&TAPAS PIETRO 豊洲店」の出店を行いました。さらにフランチャイズ店舗として9月に「洋麺屋ピエトロ千里中央店」、10月に「ピエトロイオンモール広島府中店」の出店を行いました。

以上の結果、セグメント売上高は12億19百万円（前年同期比35.8%減）、セグメント損失は2億42百万円（前年同期は18百万円の利益）となりました。

③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸等）事業におきましては、売上高は1億26百万円（前年同期比0.3%増）セグメント利益は66百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億46百万円増加し、96億32百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億53百万円、売掛金が3億42百万円、有形固定資産が82百万円、敷金及び保証金が45百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ5億97百万円増加し、40億71百万円となりました。これは買掛金が1億6百万円、長期借入金（1年内含む）が4億69百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億48百万円増加し、55億60百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億28百万円、譲渡制限付株式報酬制度導入に伴う自己株式の処分38百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益2億39百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2020年10月28日の「業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,692,553	1,946,320
預け金	21,737	44,171
売掛金	1,292,235	1,634,502
商品及び製品	147,713	146,390
仕掛品	3,962	4,903
原材料及び貯蔵品	107,969	122,680
その他	168,238	117,788
貸倒引当金	△110	△52
流動資産合計	3,434,300	4,016,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,001,587	2,091,275
土地	2,018,342	2,019,111
その他(純額)	653,834	645,585
有形固定資産合計	4,673,763	4,755,972
無形固定資産	165,854	138,122
投資その他の資産		
敷金及び保証金	372,479	417,917
保険積立金	91,375	110,681
その他	168,030	212,968
貸倒引当金	△19,760	△19,671
投資その他の資産合計	612,125	721,895
固定資産合計	5,451,744	5,615,990
資産合計	8,886,044	9,632,695

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	407,096	513,835
短期借入金	1,350,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	101,554	196,998
未払金	515,900	597,799
未払法人税等	141,177	80,095
賞与引当金	49,453	29,827
その他	236,704	288,029
流動負債合計	2,801,887	3,056,585
固定負債		
長期借入金	52,818	427,137
リース債務	180,424	150,358
長期未払金	158,593	158,593
退職給付に係る負債	108,912	108,515
資産除去債務	77,371	76,487
その他	93,817	94,058
固定負債合計	671,937	1,015,151
負債合計	3,473,824	4,071,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金	1,074,635	1,074,635
利益剰余金	3,567,212	3,677,990
自己株式	△263,565	△224,798
株主資本合計	5,420,673	5,570,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,900	△1,571
為替換算調整勘定	△6,565	△7,686
その他の包括利益累計額合計	△8,466	△9,258
非支配株主持分	13	—
純資産合計	5,412,220	5,560,958
負債純資産合計	8,886,044	9,632,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	7,247,707	7,603,212
売上原価	2,903,228	3,093,267
売上総利益	4,344,478	4,509,944
販売費及び一般管理費	3,990,891	4,064,678
営業利益	353,587	445,266
営業外収益		
受取利息	29	120
受取配当金	1,757	225
為替差益	67	—
貸倒引当金戻入額	361	118
その他	1,804	2,377
営業外収益合計	4,021	2,841
営業外費用		
支払利息	5,431	5,769
為替差損	—	2,677
その他	2,012	2,520
営業外費用合計	7,443	10,967
経常利益	350,164	437,141
特別利益		
固定資産売却益	7,079	8,321
特別利益合計	7,079	8,321
特別損失		
固定資産除却損	7,888	71
減損損失	61,288	11,534
店舗閉鎖損失	—	8,385
感染症関連損失	—	45,238
その他	—	1,765
特別損失合計	69,177	66,995
税金等調整前四半期純利益	288,067	378,467
法人税、住民税及び事業税	131,639	141,504
法人税等調整額	△8,514	△2,640
法人税等合計	123,124	138,864
四半期純利益	164,942	239,602
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益	164,954	239,616

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	164,942	239,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,189	329
為替換算調整勘定	243	△1,120
その他の包括利益合計	△6,945	△791
四半期包括利益	157,997	238,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,008	238,825
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,222,187	1,899,099	126,420	7,247,707	—	7,247,707
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,222,187	1,899,099	126,420	7,247,707	—	7,247,707
セグメント利益	1,363,494	18,700	64,644	1,446,839	△1,093,252	353,587

(注) 1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,093,252千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては61,288千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	6,257,416	1,219,049	126,746	7,603,212	—	7,603,212
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,257,416	1,219,049	126,746	7,603,212	—	7,603,212
セグメント利益 又は損失(△)	1,819,104	△242,764	66,586	1,642,927	△1,197,660	445,266

(注) 1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,197,660千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品事業」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては11,534千円であります。